

明親学校だより 臨時号



令和8年度 明親小学校 学校教育目標

「**学び合い 高め合い 自分も人も大切にできる明親の子**」

「め」～めあてに向かって自ら学ぶ子 「い」～命や心をいつくしむ子 「しん」～心身ともに健康な子

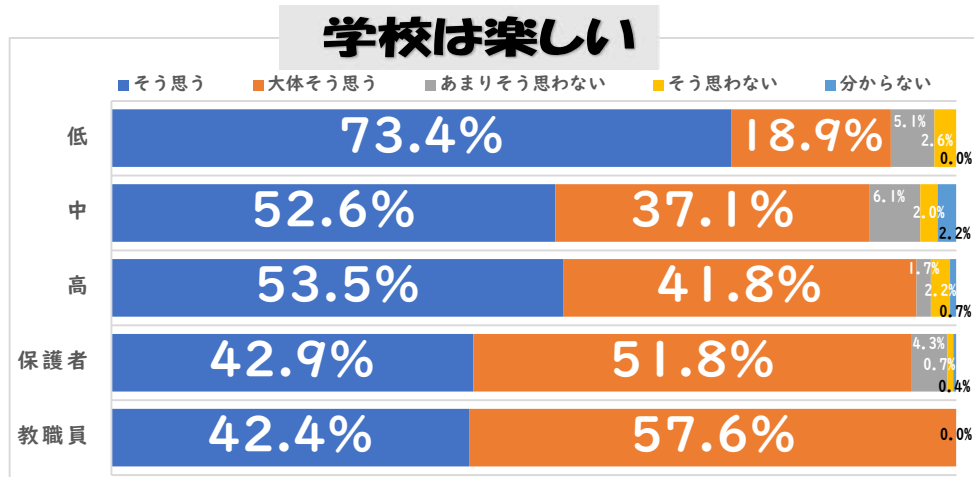
～児童につけたい資質・能力～

『考える力』…既有的知識をもとに、自分の考えをはたかせて解決していく力
『話し合う力』…課題解決に向かって、自分の考えを述べ合い認め合う力

令和8年10月1日
京都市立明親小学校
校長 鷹羽 一彦
☎ (075) 631-2077

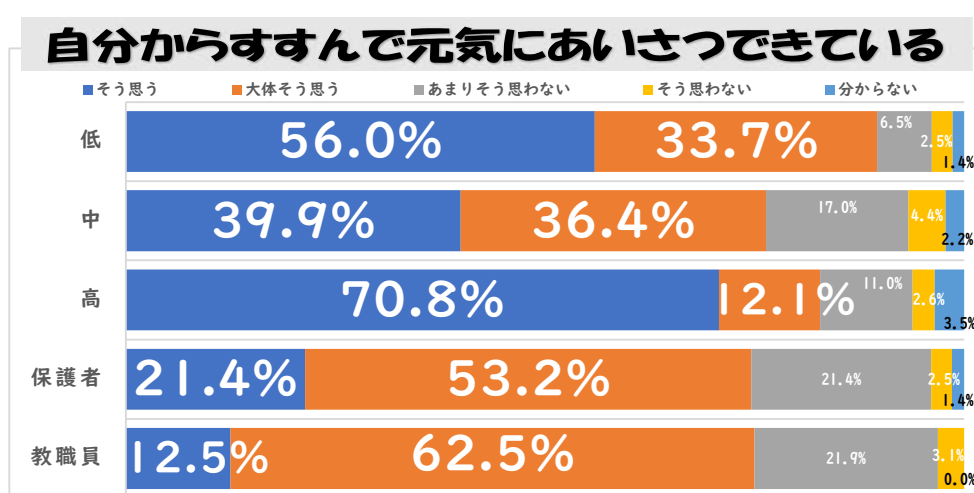
秋冷の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、本校教育に、ご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今年度もオンラインでの第1回学校評価アンケートを行いましたところ、快くご協力いただき、ありがとうございました。この学校評価アンケートは、児童・保護者・学校の三者で行い、第1回・第2回と年2回の実施を企画しています。今回は第1回学校評価アンケートの結果をグラフと数字でお知らせ致します。



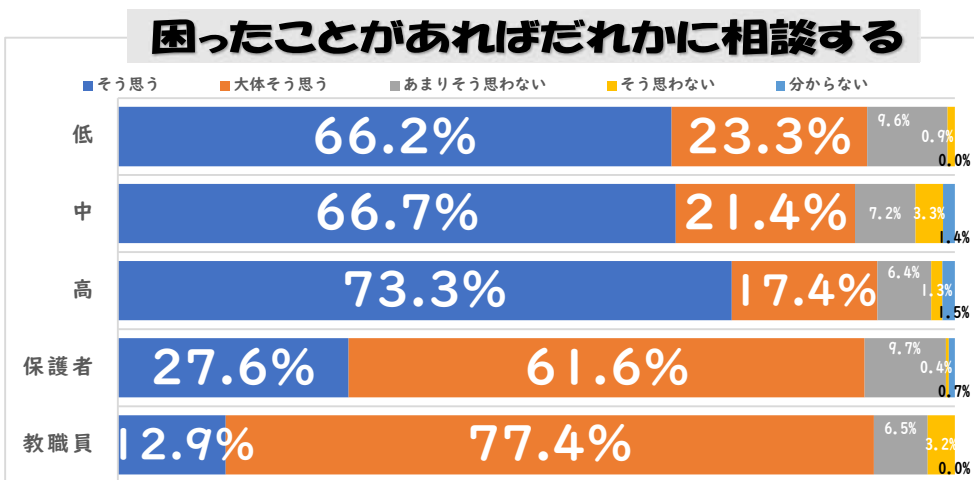
今回のアンケートでは、どの学年も9割の子ども達が学校は楽しいと答えています。また、保護者も子どもは毎日楽しく学校に通っていると答えています。充実した日々を過ごしていることが「学校は楽しい」という回答につながっていると考えられます。

しかし、学校が楽しくないと回答している子どもも一定数見られるため、今後も子どもたちに丁寧に寄り添い、一人一人が安心して楽しく通える学校づくりをすすめていきます。

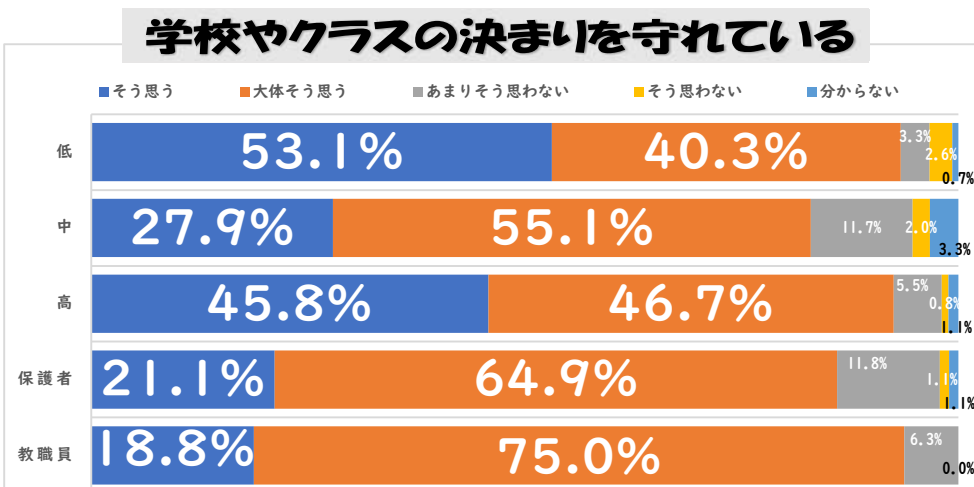


昨年度の『元気に挨拶できている』という項目を、今年度は『自分からすすんで元気に挨拶できているか』という項目に変えています。大多数の子ども達が「そう思う」「大体そう思う」と肯定的に回答していました。特に高学年では「そう思う」が約7割と高く、自分からすすんで挨拶するという意識の高まりが見られています。挨拶は、人と人がよりよくなるためにとても大切なものです。今後も、挨拶するという習慣を学校だけでなく、家庭や地域へも広げられるようにしていきたいです。ご家庭でも引き続き声かけをよろしくお願いします。

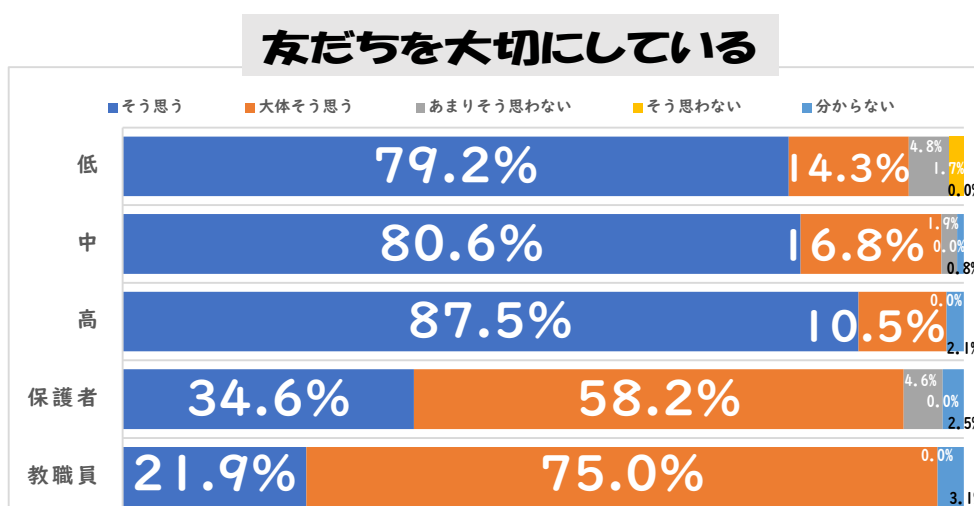
おはようございます!!



近くに自分の思いを伝えられる人がいることは、とても大切なことです。今回のアンケートでも、たくさんの子どもたちが困ったら相談できる人がいると答えており、子どもたちが安心して相談できる環境づくりがすすんでいると思われます。一方で相談しにくさを感じている子どももいますので、今後も子どもたちに寄り添い、誰もが安心して相談できる学校づくりをすすめていきます。



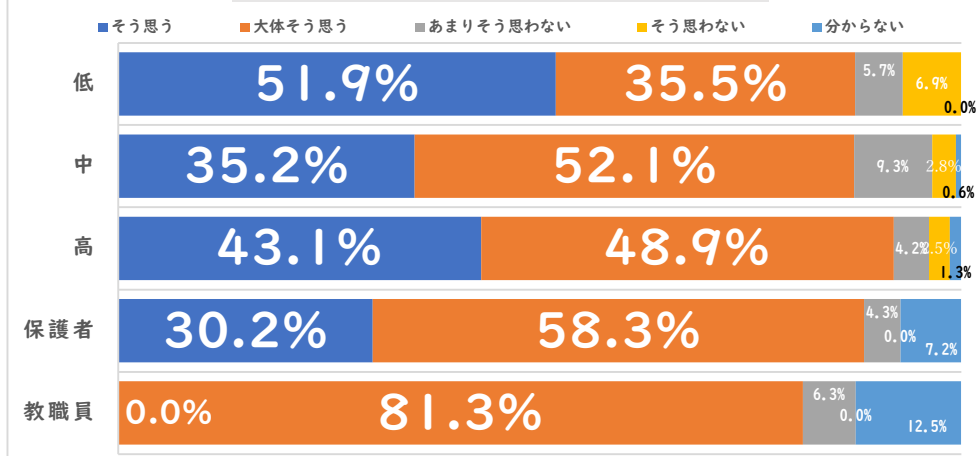
8割以上の子どもたちが「そう思う」「大体そう思う」と答えており、子どもたちの規範意識やルールを守ろうとする意識の高さが見られます。ただ、中学年は前年より大きく低下しています。集団生活を送るためには約束やきまりを守ろうという子どもたちの心に届く粘り強い指導の必要性を感じています。これからルールやきまりの意味を理解し、自ら判断して行動できる力をつけられるように指導を重ねていきたいと思ひます。



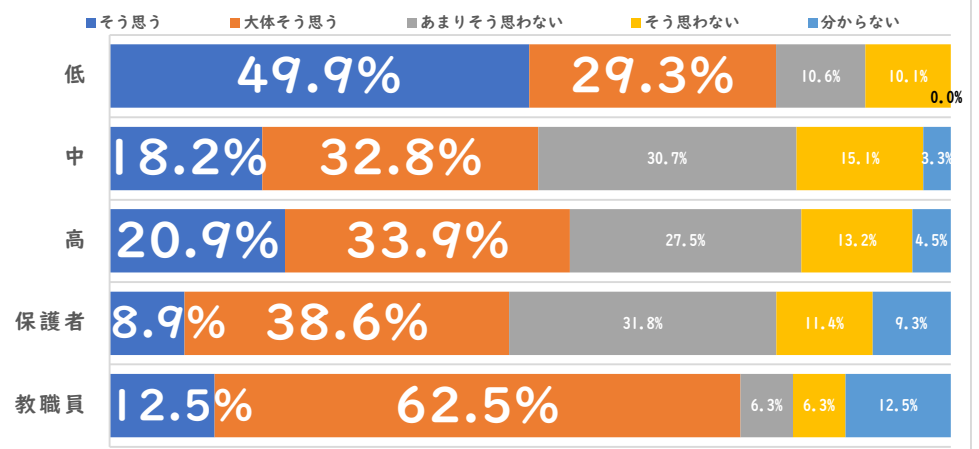
児童・保護者ともに『友だちを大切にしている』意識が非常に高く、子どもたち同士が互いを認め合う温かい人間関係を築いていることがうかがえます。日常生活の中で、友だちの存在は大きな力を与えてくれます。今後も学級づくりや人権教育を充実させ、一人一人が安心して友だちと関わるのが環境づくりをすすめていきます。



授業はよくわかりますか

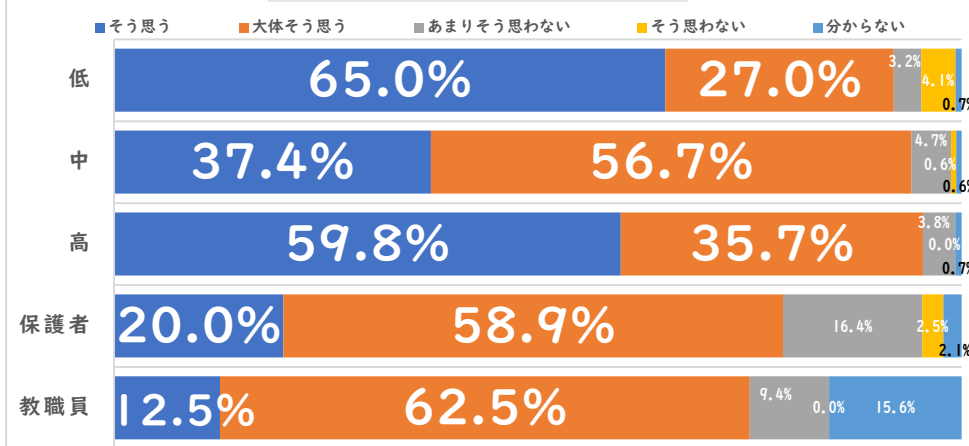


分からないことは質問していますか

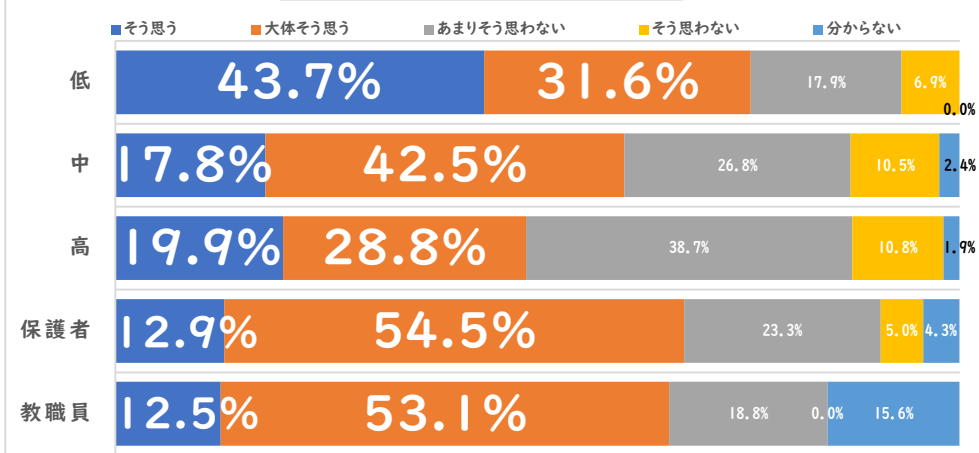


「毎日の勉強はよく分かりますか（授業はわかりやすく工夫されている）」の項目では、児童、保護者とも授業はよく分かると答えています。明親小学校では、児童自ら問い・課題をもち、その課題解決に向けて自ら考え、友達と対話する中で学びを深められるような授業、学びを深めた後に自分の考えや思いを表現する力を身につけられるような授業を心がけています。友だちと対話する中でお互いの考えを認め合い、深い学びを得られていることから授業はよく分かると答えているのではないかと考えられます。今後も継続して深い学びを得ることが実感できるよう授業改善をすすめていきたいと思ひます。一方、「分からないときは質問していますか」の項目では、課題が見られます。低学年では質問する割合が高いですが、中・高学年では質問する割合が低下しています。「質問することが恥ずかしい」や「学習した内容をそのまま覚えていいる」といった事が考えられます。引き続き、児童が安心して質問できる環境を整え、自ら学びを深める力の育成を進めていきたいと思ひます。

しっかひを話を聞く

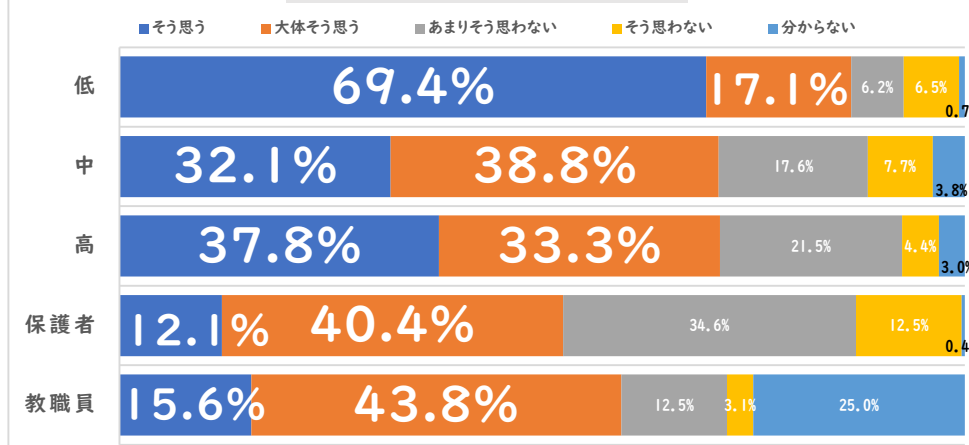


すすんで発表する

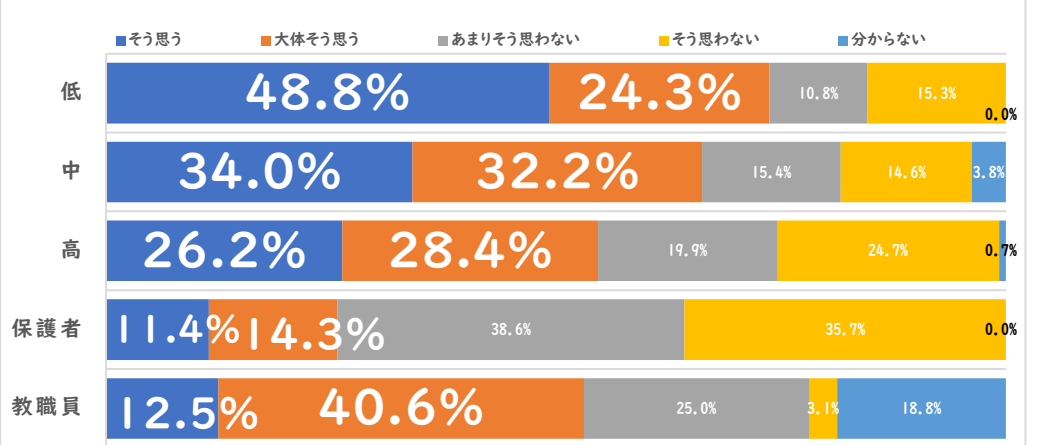


「聞くこと」に関しては、9割以上の子どもたちがよく話を聞いていると高い意識をもって答えており、児童の学習規律や話を聞く姿勢が定着していると考えられます。一方、「進んで発表している」の項目では、聞く力と比較すると自分の思いを相手に伝えたり、全体の場で発表をしたりすることに課題が見られました。特に高学年では、話を聞く力は高いものの発表への積極性が低く、周囲を意識する心理や自信の不足が影響している可能性が考えられます。今後も、対話的な学習活動やペアトークなどの小集団での活動を充実させ、児童が自信をもち安心して自分の考えを伝えられる学級づくり・授業づくりを進めていく必要があると考えています。

家で勉強している

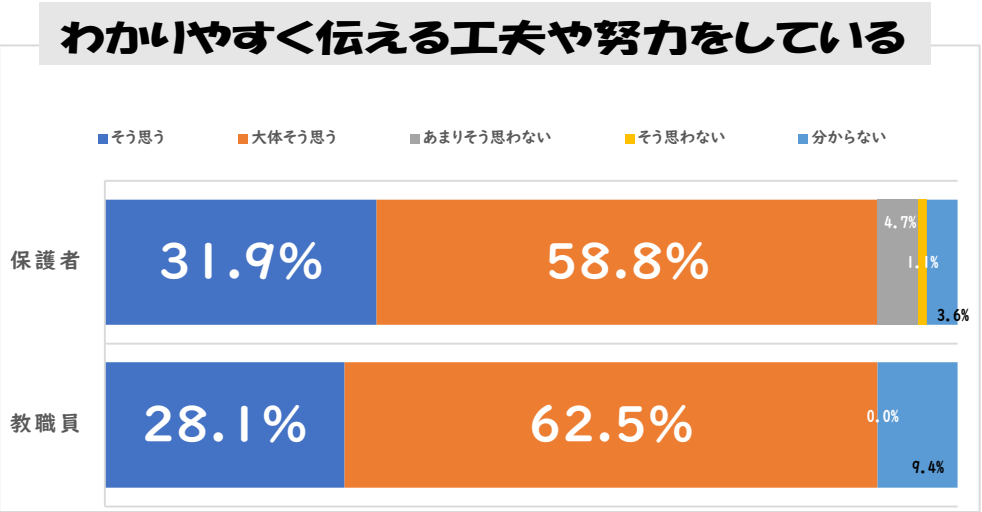
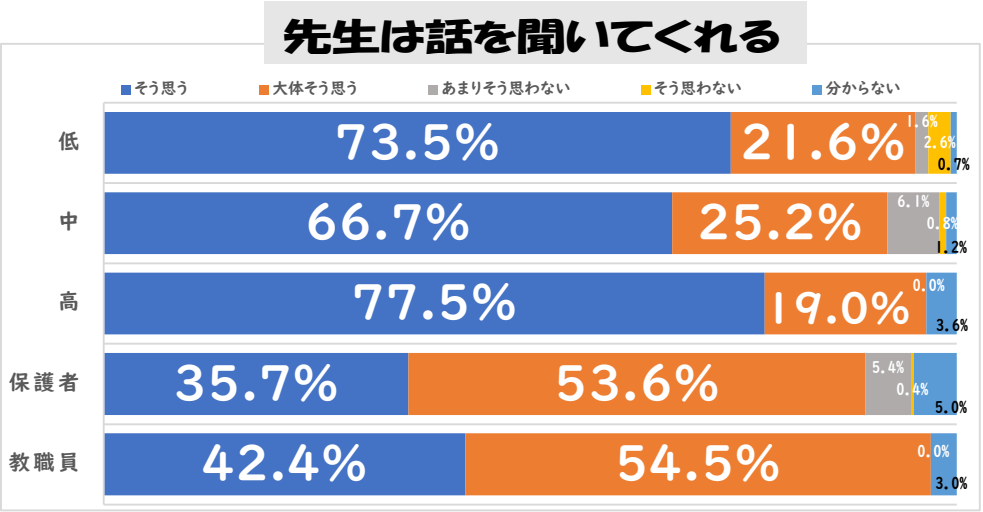


家で本を読んでいますか

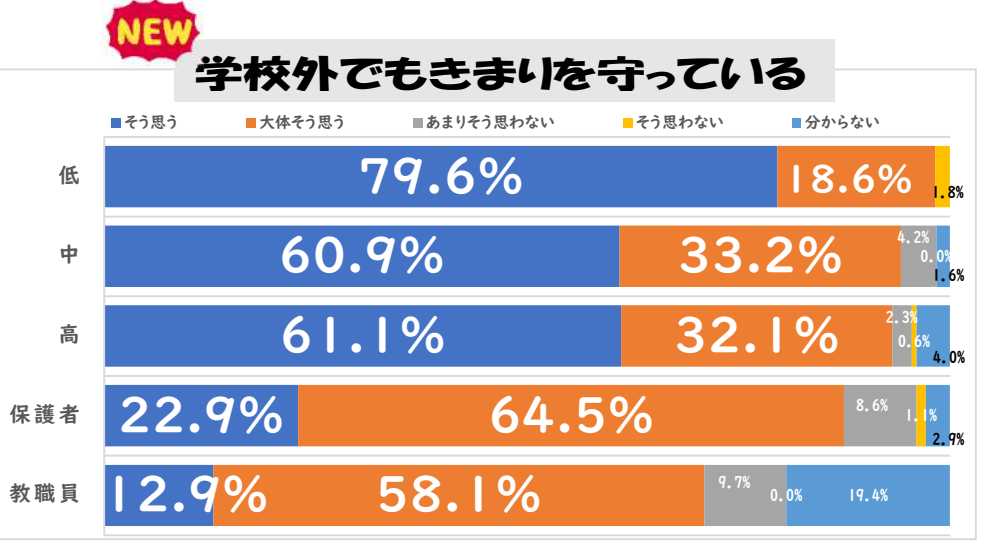
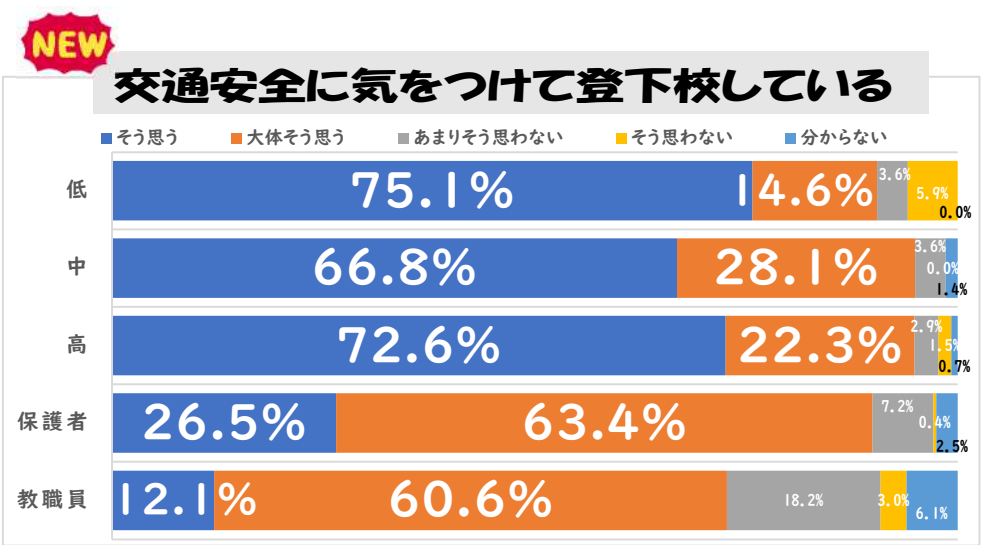


「家で勉強している」の項目では、学年に応じて決まった量の宿題や自主学習を出すことで、家庭での学習の習慣化を図っています。今回の結果では、家庭学習の習慣が一定数定着している一方で、低学年9割弱、中・高学年7割と学年が上がるにつれて「そう思う」「大体そう思う」の回答が減少する傾向が見られました。また、保護者の「家で勉強している」とした回答は約5割弱となっており、家庭での学習への取り組みについて児童と保護者の間に差が見られます。保護者としてはもう少し家庭学習の時間を増やしてほしいと考えておられるのかもしれません。今後も家庭と連携しながら学習時間の確保と学習習慣の定着を図るために、「基本的な生活習慣」や「時間を守ること」「決めたことは守る」など学校でも粘り強く指導していきますので、ご家庭でもご協力よろしくお願いしします。「家で本を読んでいますか」の項目では、低学年約7割、中学年約6割、高学年約5割が「そう思う」「大体そう思う」と回答しています。高学年は3年間（R6～R8）で8.4ポイント向上しており、学校司書の協力の下、学習関連図書を気軽に読めるコーナーの設置、新着本の掲示、貸出数ランキング、図書館だよりなど子どもたちの読書への関心・意欲を高める取り組みをすすめることで読書習慣の改善が見られました。しかし、学年が上がるにつれて読書習慣が低下する傾向があり、家庭学習の取組と比較しても読書習慣の定着は不十分となっています。読書は知識や教養を身につけることができ、さらに読解力や思考力、表現力、集中力などの向上や、ストレス軽減、共感力、想像力の向上といった心身への良い影響など、多くの有効性があります。学校でも読書に関わる取組（読書ノートの活用や読書週間等）、指導者の読書姿を見せることで、子どもたちが本と触れ合う機会を作っていきたいと考えています。





「先生は話を聞いてくれていますか」の項目では、低学年・中学年・高学年・保護者全ての対象において約9割以上が「そう思う」「大体そう思う」と答えており、児童と先生との信頼関係が良好であると考えられます。また、「困ったら相談できる人がいる」の項目でも高い結果が得られていることから、児童が安心して相談できる環境が整っていると考えられます。今後も児童一人一人の思いに寄り添い、日常的な対話を大切にしながら、安心して相談できる学校づくりを進めていきたいと思ひます。「学校は取組や様子をわかりやすく伝える工夫や努力をしている」の項目では、保護者・教職員共に約9割が「そう思う」「大体そう思う」と答えています。保護者は3年間を通して約9割が続いており、学校の教育活動や児童の様子が伝わっていると考えられます。一方で、約1割の保護者には十分に伝わっていない可能性もあるため、学校だよりやホームページ、すぐる配信等を活用しながら、より分かりやすくタイムリーな情報発信に努めたいと思ひます。



今年度から「交通安全に気をつけて登下校している」の項目を加えました。この項目では、低学年・中学年・高学年・保護者の約9割以上が「交通安全に気をつけて登下校している」と答えており、児童の交通安全に対する意識の高さが見られました。一方で教職員の「交通安全に気をつけて登下校している」という答えは約7割で、児童や保護者との間に認識の差が見られました。教職員は登下校時の様子を客観的に見ており、歩行マナーや安全確認などに課題を感じていることが考えられます。今後も交通安全教室や日常的な安全指導を継続するとともに、家庭・地域と連携しながら、安全意識を実際の行動につなげられるようにしたいと思ひます。さらに「学校外でもきまりを守っている」の項目も加えました。この項目では、多数の児童及び保護者が「そう思う」「大体そう思う」と答えており、学校外でも児童の規範意識の高さが見られました。特に低学年は98.2%と極めて高い数値となり、基本的な生活習慣やルールを守ろうとする意識が定着していることが分かります。一方で教職員の評価は71.0%であり、児童や保護者との間に認識の差が見られました。教職員は学校外での行動や地域での様子を踏まえ、より客観的かつ厳しい視点で評価しているためと考えられます。今後も家庭・地域と連携しながら、交通安全や公共マナー、情報モラルを含めた規範意識の育成を進め、学校外でも適切に行動できる児童の育成に努めていきたいと考えています。

【家庭でのよい取組やご意見・ご感想】 … 保護者記入欄からの抜粋です。

挨拶・礼儀

- ◎あいさつ ◎あいさつ、お手伝い ◎あいさつには気をつけています お手伝いもほぼ毎日してくれてます
- ◎あいさつは、自分のためにすると教えている ◎家族間では挨拶をしているが相手がしてくれないとそれからはしてないみたいです
- ◎ガードマンさんが横断歩道で車を止めてくれたらありがとうございます!と言って褒められてます
- ◎挨拶(おはよう、ってきます、いただきます等)は家族全員で行うようにしています ◎挨拶だけはするように教えている
- ◎挨拶、野球の自主練、お手伝い ◎挨拶などの礼儀はしっかりと出来ています ◎家庭内でのあいさつは、出来ていると思ひます
- ◎挨拶は大切だと思うので家の中でも家族みんなで行うようにしています ◎自分から気持ち良く挨拶するように家では話しています
- ◎挨拶をする、食事のマナー、感謝と謝罪は徹底して伝えているつもりです ◎あいさつはしっかりしなさいと言ってあります
- ◎挨拶を毎日欠かさずしている。お手伝いも進んでしてる
- ◎常に感謝の気持ちを大切に!何かしてもらった時には必ずありがとうを伝える事
- ◎人に会えば挨拶はする!挨拶していれば顔を覚えてもらえるから何か合った時、気にしてもらえるという事は、口が酸っぱくなるほど言ってます
- ◎知らない間に近所の方と知り合いになっていて、挨拶をしているのを見て驚きました

お手伝い

- ◎お手伝い
- ◎お手伝い、早寝早起き
- ◎お手伝い(洗濯物取り入れ、お風呂洗いなど)
- ◎お手伝いをしてくれます
- ◎お手伝いは気分ですしてくれていたりしますが、年々進んでやってくれています
- ◎お手伝いをよくやってくれるようになりました
- ◎お風呂洗係として、毎日お手伝いをしてくれています
- ◎ご飯を作ってくれます
- ◎ご飯を炊いたり、お風呂洗いをしてくれます
- ◎たまに手伝い
- ◎よく手伝うお手伝いはご飯を炊いてくれる事です
- ◎何合炊くかを確認してから、研いで炊いてくれる
- ◎家でお手伝いを頑張ってくれています
- ◎家事手伝い
- ◎自分で気がついて、家の事をや親の手伝いをする
- ◎手伝い
- ◎自分が出来る事を、まず自分からやっていく(お着替えや、食事の用意やお片付け、欲しいものを自分で取りに行くなど)
- ◎手伝い(洗濯物の取り入れて畳む)を毎日やってくれます
- ◎手伝い(当番制)・LaQなどのブロック遊び・読書
- ◎手伝いをよくしてくれます
- ◎食事の後、家族の食器や机の上を綺麗に片付けるお手伝いをしてもらっています
- ◎洗濯物やお風呂掃除などお願いすると、はりきってよくしてくれます
- ◎毎日の家庭学習とお手伝いは頑張ってくれます
- ◎毎日お風呂洗いや玄関の靴揃えなど、積極的に家事の手伝いをしてくれます
- ◎夕飯の準備など簡単なお手伝いをしてもらっています
- ◎料理を作るのに興味があり、家で作ってくれています



生活習慣

- ◎自分でできることはできるだけ自分でするようにし、身の回りのことや準備などに自主的に取り組んでいます
- ◎早寝早起き
- ◎入学してからずっとですが、学校から帰って手洗いなどした後に少し休憩したら即宿題に取り組んでいます
- ◎帰ってすぐ宿題、明日の準備をする



読書

- ◎寝る前に絵本を読み聞かせている
- ◎寝る前の読書、毎日の自主学習
- ◎一緒に読書をして感想を言い合うようにする事を始めた
- ◎読書はあまり時間がないので、日本史でもマンガで読みやすいもので読むようにしている

家族で対話

- ◎会話を積極的にたくさんしています
- ◎会話を積極的にたくさん話すようにしています
- ◎優しい気持ちをもって話す
- ◎妹のことを気にかけてお世話、あいさつ



その他

- ◎漢字検定にチャレンジ
- ◎物を大事に使う
- ◎思春期に入ったのか、家での言葉遣いや行動が乱暴になってきました。親に色々注意されることを特に嫌がります。姉の時も同じような感じだったので見守ることも必要かと思っています
- ◎我が子の事ではありませんが、公園中と公園の道路を挟んでキャッチボールをしたり、新興住宅地の道路の中央であぐらをかいて数人で話したり、自転車を手端に停めず車の走行の妨害をする子供が多いです。酷いと私も注意しますが限度もあります。学校では無く家庭の問題だと思いますが、公園やボールの使い方、ゴミの捨て方等、学活や道徳等で取り入れられないでしょうか？我が子より上の学年だと思うので 3～4 年生の印象です。下の子と公園遊びが危険な時もあります。是非検討して頂けませんか？よろしくお願いします。(ちなみに 5、6 年生ぐらいの背丈の子は幼稚園児の下の子が遊んでると、気を付けろよ!小さい子おるから!と配慮しながら遊んでくれる子供が多い印象です)
- ⇒「人の迷惑になることはしない」、「どんな行為が人の迷惑になるのか」、「なぜ人の迷惑になることをしてはいけないのか」、「相手の気持ちは？」といったことに関しては、学校教育全般を通して、またその時々で具体的な事例も取り上げながら通年で指導しています。『自分で考えて正しい判断をして行動をする子』に育つよう、引き続き学校でも粘り強く指導していきます。一方で、家庭の協力は不可欠です。自分のお子さんが放課後に、誰とどこで、どんな遊びをしているのかをご存知でしょうか。今回、こうしたご意見をいただいたことを一つのよい機会として、ご家庭でも自分のお子さんに放課後の過ごし方、マナーについてぜひお話いただければと思います。

ご多忙の中、学校評価へのご協力ありがとうございました。

学校評価の内容を踏まえ、今後の学校運営に生かしていきたいと思います。今後とも、本校教育に何卒ご理解ご協力いただきますようお願い致します。
次回のアンケートは、12月を予定しています。